

宗賀地区タウンミーティング議事録(要旨)

○日時 2025/10/30 19:00～20:05頃

○場所 宗賀支所

○参加者 27人

○説明者 市長、企画政策部長、農林部長

○議事録(要旨)

※個人情報や個人が特定される内容などは省略しています。

市長

皆さんこんばんは。朝晩は本当に冷え込んで冬が来てしまった、そんな陽気になっております。夏が終わったかと思えばすぐに冬に突入してしまった、そんなことを感じております。本日は1日のお疲れのところ、宗賀地区でタウンミーティングを開催しましたところ、多くの皆様のご参加をいただきまして、誠にありがとうございます。このタウンミーティングですけれども、市内10地区を全部回る予定で、今日が4カ所目になります。

今日、宗賀地区では、区長さんからいただいた要望あります。限られた時間ではありますが、皆さんと積極的に意見交換ができればと思います。ぜひ、直球を投げただけければ、私も直球でお返しできますので、包み隠さずに思いの丈を、忌憚ないご意見をいただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

※(省略)宗賀地区の説明(別添資料)

※(省略)令和8年度予算編成方針について説明(別添資料)

一方的に喋りまして大変申し訳ございません。今回のタウンミーティングに先立ちまして、区長さん方から要望、案件をいただいております。

有害鳥獣対策についてということで、サルとかイノシシの出没が相次いでおりますし、昨日は本山神社のところでもクマの目撃情報がありました。そういう中で、サルに対しては大型捕獲の檻を設置いただきたいとか、生ゴミの適正管理を周知してほしいと、要望をいただいておりますので、回答したいと思います。

こちらは、今年のクマとイノシシの出没状況でございます。(スクリーンに地図を投影)

クマは、昨日の本山神社付近での目撃を含め、5月16日から昨日10月29日まで、月に2、3件程度の目撃情報があり、全部で17件の目撃情報があります。床尾から南の方にかけては洗馬、本山といった所で、出没が確認されております。

クマの対策は、皆さんの安全を確保しなければならないので、今、全力で取り組んでおります。私、昨日まで秋田に行っておりまして、秋田はクマの出没が相次いでいます。クマの大きな問題は、空き家にある柿の木だという話がありました。クマは柿の木を目掛けて来ることがだんだん分かってきていると。空き家に関わらず樹木の適正管理で、昨日の市民タイムスに、「人里と山林の境」というコラムがありました。里山が荒れてきて、クマも、自分が普段住む山と人が住むエリアの境がわからなくなってきて出てきてしまう、という話もあります。里山の保全、宗賀地区でどんぐりプロジェクトも進んでおり、非常に大事だと感じております。

そして、いただいた質問に対するお答えですが、まずサル対策についてであります。大型捕獲檻設置については洗馬で10月上旬に6m×4mの檻を設置しております。この檻の捕獲の有効性ですが、檻を設置して猿が入ってくることを確認できれば、増設の検討をしております。GPSによる管理は後ほど、農林部長からお話をします。

生ゴミの適正管理は、有害鳥獣対策で非常に重要なことでもありますので、しっかりと周知していきたいと思っております。周知につきましては、ありとあらゆる手段を通じて進めていきますし、意識を高める必要性がありますので、地域ぐるみの取り組みができるように進めてまいります。7月から8月にかけて尾沢橋周辺の住宅地隣接へのクマ出没が相次いだことから、周辺の里山を整備し出没を抑制する緊急の緩衝帯整備を、これから実施いたします。

あと、森林の整備を進めていきたいと思えます。遊休農地の解消というのも一つ大きな必要性がありますので、しっかりと進めていきたいと思っております。

サルの被害のイノシシの被害は、皆さんがせっかく育てた作物を、本当に収穫の前日ぐらいを狙って、荒らしてしまうというケースがあります。育てることへのモチベーションが下がってしまってることは実感しております。有害鳥獣対策もしっかりと取り組みを進めていきたいと思っております。

貴重なご意見ありがとうございます。足りない部分は、農林部長からお話を差し上げます。

農林部長

私からは、市長から紹介ありました GPS の関係を説明させていただきます。長野県が令和 4 年に策定した管理計画というものがございいます。この基礎調査に小曽部地区が選ばれたということで、実際に、サル 1 匹に GPS をつけて行動調査を行ったという経過がございいます。現在も GPS 取り付けした猿はおります。この GPS によって生息域がマップ上で確認ができ、行動傾向が分かるということになります。傾向が分かれば、先回りして早めに追い払い活動ができるということであります。小曽部地区におきましては、協議会を立ち上げて、地元の皆さんにも協力いただける体制が出来上がっているという状況でございいます。

あともう 1 か所、市内では北小野地区においても GPS をつけてほしいという地元からの強い要望を受けまして、捕獲に今取り組んでいるところではあります。なかなか GPS をつけるための猿が捕まらないという状況がございいますし、西条の方でも同様な傾向がございました。捕まえるのがなかなか難しい、あるいは GPS をつけたとしても捕殺されてしまったというようなこともあります。今の市内での GPS の状況でございいます。

その他、有害鳥獣につきましては、一番大きなダメージを受けるのは農家の皆さんだと思っております。特に、サルは 3 次元で攻撃をしてきますし、ハクビシンは一晩のうちにトウモロコシ 30 本以上食べてしまうというような激しい捕食がございいます。それによって農家の皆さんが、次期作への意欲を失ってしまうことが非常に恐れていることであります。

こうしたことから、市では、今年度から有害鳥獣パトロール員 7 名を、週 3 日間、2 人ずつのペアで巡回し、発生した地域に急行し、追い払い駆除等を行っています。対応の迅速化あるいは機動力が上がったのではないかとみております。今年度の動きを見まして、来年度も予算について検討し、さらに増員の検討をしてみたいと考えているところでございいます。私からの補足説明は以上となります。

市長

クマについて、長野県の方で「けものおと」というアプリケーションがあります。クマが出た県内の所をスマートフォン上で見るようにできております。昨日の本山の出没データも反映されております。こういったスマホの活用もしながら、クマの被害にあわれないような対策を進めることが必要かと思っております。

私と部長から、簡単ではございますけれども、区長さんからのご要望に対してお話差し上げました。区長さん方で補足ある方いらっしゃいますでしょうか。

市民

市としてはガバメントハンター、自治体に属する公務員でありながら、獣害の対策のために有害鳥獣の駆除を行うということでございますが、それはどのようにお考えですか。

市長

市の職員で、銃を撃てる職員が1人、仕掛け罠をできる資格を持った職員が2人いますが、ガバメントハンターという形で仕事をしていません。緊急銃猟も始まっており、猟友会の皆様も、緊急銃猟で市街地で撃つ時の責任を負う、負わないとか難しい状況もございます。必要性を考えておりますが、人材がきちんと確保できるかという課題は感じております。

市長

ありがとうございます。有害鳥獣が今話題になっていますので、皆さん方の中で有害鳥獣の関連があればどうぞ。

市民

若神子の方でイノシシが出て困っています。玄関の先まで来ちゃってすごく荒らされてその市民の方、非常に悲しい思いをしているんですね。今聞きますと、サルとクマについてはご説明あったんですけども、イノシシはどんな対策をこれからやっていただけるのかご返答いただければありがたいんですけども。

市長

はい、ありがとうございます。イノシシは豚コレラが流行ったときに個体数が減ったとは感じております。その後、ワクチンが入った餌を山の中に置いて、それでまた個体数が増えているのかなと思っています。なかなか、イノシシに対する対策というのは非常に難しいところがございます。畑も、山のいいところを鼻で荒らしてしまうこともあります。部長の方でイノシシの対策

で進めているところがあれば。

農林部長

イノシシは非常に頭のいい動物で、猟友会の方に聞くと、この季節にここでこういうものが食べられたという記憶をしっかりとインプットしているそうです。市の対応としましては、まず猟友会の皆さんにお願いをして箱罠を仕掛けていただいています。

その他にも、四肢動物につきましては電気柵が非常に有効です。市には農地に農家がこの電気柵を設置する際に、個人で設置する場合2分の1以内、上限10万円の補助、共同で設置する場合は、3分の2以内、上限20万円の補助制度があります。こういった物を自助努力として設置していただくと、だいぶ違うということを聞いております。もちろん、物理柵に対してもこの補助金は使えます。同時期、同所に現れるかもしれないということを想定できるからこそ、事前に囲いをしていただくことが、まず1点になるかと思います。

その他に、どうしても困ったという事態になった場合には、猟友会の皆さんがやはり経験豊かであり、必ず跡の跡が付きますので、猟友会の皆さんと一緒にどこに獣道があるのか、どこに仕掛けたらいいのかを考え、くくり罠などで取ることも可能であります。そういった手段を考えていくということになろうかと思います。

市民

今、イノシシのお話が出ましたが、私どもどんぐりプロジェクトで、子供たちの遊ばせる、どんぐり広場という所があります。イノシシが、昔私達が使っていた池の法面を荒らしたり、水芭蕉を植栽してあるところも鼻で掘り起こされてしまってもう昔の形が分からないような所もあったりします。子供だましみたいな話かもしれませんが、テレビ番組のDASH村で、稲のところにイノシシが来るということでブルーのタフロープっていうのですかね。それをその周囲に全部やったらそれ以降イノシシがそこには来ていないっていうのを見まして。子供たちが遊んでいるどんぐり広場に試してやってみようかなと思っているんです。そこら辺は全く定かでないので、今インターネット等で調べればできることかもしれないんですが、公共の立場として、そんなことがあるのかっていうのを確認ができましたらご回答いただければありがたいです。効果があれば、私達のどんぐりプロジェクトで、遊び心じゃないですけど、子供たちが学校

で授業を行っているときに、もしイノシシが出て怪我でもうされたら大変なことになるので、事前に何か対策をとっておきたいなあって思っています。もし可能でしたら調べてみていただいで、ご回答いただければありがたいです。

市長

はい、ありがとうございます。今のお話ですね、ブルーのロープを張るだけでいわゆるフェンスみたいな形になるようなものかと。そういった事例とか、おそらく DASH 村の番組で放送する場合であれば、いろんなところでの事例があると思いますので、事例がまずあるかどうか。市の方でも調べてみたいと思っておりますし、もしそれで効果があるのであれば、電気柵の設置に補助を出しておりますので、補助の要綱にそういうロープを加えるのも効果があればありなのかなと思って、検討もしてまいりたいと思います。また調べまして、結果をお返ししたいと思います。

市民

お世話になっております。今年度事業要望ということでもって、9年度以降の要望として、洗馬区西裏の緩衝帯整備のことを出してみたんですが、採択率っていうのはどんなものでしょうか。あと採択いただけるかどうか、また他の地区でも、そういう要望があったかどうかお聞きしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

市長

はい、ありがとうございます。今の緩衝帯は、有害鳥獣の緩衝帯ということでよろしいですか。部長の方からお答えをいたします。

農林部長

有害鳥獣の緩衝帯でありますけれども、冒頭に説明をさせていただいた尾沢での緩衝帯整備は、県でクマの出没が激しいということで緊急的に予算措置された事業に対して、市が手を挙げたものとなります。地元から整備が必要な箇所の要望を上げていただければ、所有者等の

合意が取れそうなところから、また、緊急度に応じて優先的に順位をつけまして、採択をしていく流れになろうかと思います。洗馬地区で、どのような要望があったのかという点については詳細把握しておりませんので、改めて確認をさせていただいて、また後ほどお答えしたいと思います。

市長

はい、ありがとうございます。私ども県と一緒にやって取り組む事業は、しっかりと県に要望しておきます。また、山とか土地の地権者がいらっしゃいますので、地権者への橋渡し役とか、区の方のご負担になってしまいますがご協力いただければありがたいと思います。積極的に進めていきたいと思います。ありがとうございます。

市民

牧野から本山にかけての特に線路の西側のところが、市の農業公社でいろいろ大豆とか蕎麦を作っているわけですが。今年、蕎麦作ったところを見ると、イノシシが半分以上畑に入ってほとんど収量がないぐらいの状態になっています。それで農業公社の方で、今いろいろやってくれていますけども、農業公社の方もいろいろ予算的にやっていけないというようなことで、再来年度から一反歩3万円の負担をしてくれという形で今回っているようなんです。それで状況を役員の方に聞いたら、半分ぐらいの人は承諾しているけども、半分ぐらいの人は自分でやるというようなことを言っているらしいんです。ただ、自分でやるって方で見ると、極端な話、何もやらないっていう方も当然出てきて、今以上にあそこがもう荒れてしまうと。荒れてしまうと、またそこにイノシシ等が出没するということになると思うんです。市として遊休農地に関して、この後どのような策を考えてくれているのか、市としての考え方をお聞きしたいと思います。

市長

貴重なご意見ありがとうございます。まず、イノシシの被害の関係に関しましては、しっかりと取り組みをしていきたいと思っております。今年に入ってからイノシシの捕殺した頭数が49頭であります。昨年が同じ期間で32頭ですね。イノシシの対策を捕殺という面でも、しっ

かりと対応をしているところでもあります。線路の西側が守られるようにいろんな策を講じたいと思っております。また、一反歩3万円というお話ありました。宗賀南部営農組合ですね。部長の方からお願いします。

農林部長

かつて宗賀南部営農組合の皆様が一生懸命取り組まれていたエリアにおきましては、現在、農業公社が土地をお預かりして、蕎麦、大豆を栽培しているという状況です。ご指摘のとおり、獣の侵入がございますし、連作障害等々もありまして、収量が最近落ちているということで、農業公社の経営状況もなかなか厳しいという話は聞いているところであります。新たな打ち手ではありますが、今年度の年度当初から、農業公社のあり方について検討するよう理事者から指示を受けております。私どもと農業公社の職員と、毎月顔合わせて打ち合わせをさせていただいているところであります。

今考えていることは、土地改良事業で小さな区画を大きな区画にすることができないか、そしてそこに、効率を重視する農業法人を誘致することはできないか、そういったことを考えております。もしかしたら夢物語かもしれませんが、当然、国の補助がつかなければできないハード事業になってまいります。それから、地元の皆様にも合意をいただかないと進めることができない事業になります。そういった基盤整備をしなければ、跡継ぎもなかなか現れない状況でありますし、外から農業法人を誘致するにしても、ちゃんとした環境整備ができなければ誘致もままならないだろうという発想から、これまではソフト事業を充実させて、その後にハードに移るというのが通例ではあったわけですが、ハード事業で初めに整備し、その後ソフト事業で充実させてみたらどうか、という逆パターンのアイデアを持っております。この事業については、今、ちょうど予算編成の時期でありますので、企画課、財政課も交えて検討を進めているというような状況でございます。

市長

遊休荒廃地の解消という目指すべき方向が、私どもも一番目指していきたいと思っておりますので、またそれには皆様方の力も必要ですので、引き続きお力をいただきたいと思います。

市民

財産区を解散するときに、宗賀の財産区の洗馬の床尾のところの間伐事業5ヶ年計画で、昔のリアカー道が4メートル道路になりました。解散するときに、その道をうまく使ったらいいんじゃないかっていうことで、花桃を植えるっていうことを今やっています。予算をつけていただいて、昨年 50 本かな。今年また 30 本ぐらい増えるんですけども。それに伴うと、手前の方に私設の個人の木がいっぱい植えられているわけですので、それをとれば鳥獣の来ない見通しが良いということで、お金かからない方法で今、協力してもらって。杉と松が多いですから、ストーブに使う人はいいんですけども、良いついていう方をお願いして、ぼつぼつ切らしてもらっています。この床尾から尾沢橋の入口のところまでは、財産区がほとんどですから、その道のところに花桃植えて、人が年中歩いていると声がするから鳥獣も特に来ないんじゃないかっていうのも踏まえているんですけども。なかなかそれでも今、お願いしているけど、ただでお願いしてやってもらっているもんですから、なかなか思うようにいかないです。それが綺麗になれば、いくらか鳥獣の対策になるかなと思っています。

今、洗馬のあそこに行灯がありますけれども、あの南のところが道とのあいさが藪になっています。そこも一応個人的にお話をして、切ってもいいよと言われているんですが、我々個人のところじゃ、電線とかありますから、あそこが一番難関かなと思っています。北の方はストーブで欲しいって方に、ぼちぼち切らしてもらっております。そうするとそこは綺麗になるんですけど、今はまだほとんど藪になってますんで、今もイノシシがその藪中から出てきて、完全に道ができています。予算を取っていただければ、手前の山の手前の林が綺麗になるかなと。そうすると、イノシシも出てこなくなるから、今進めていますから、協力をしていただければいいかなという意見です。

市長

はい、ありがとうございます。財産区のときいろいろとお力をいただきました。市の方にもご協力いただき、いろいろとありがとうございました。今お話いただいたところ、私も承知をしておりますし、花桃を植えてこれからの道を活用していく。そんなお話もしています。民地のあるところは、やはり地権者の方の合意がありますけれども、市としましても尾沢からぐっと抜け

ていけるような、本当に綺麗な道になっておりますし、歩いてもいいし、マウンテンバイクで散策してもいい。そんな道だと思っていますので、整備の方でいろいろとまたお力をいただきながら、進めていきたいと思います。1 力所がネックになって、せっかくあるところがうまく活用できないっていうのを解消する大事なことだと思いますので、承りたいと思います。

ありがとうございました。

市長

時間もありまして、有害鳥獣から話題を変えさせてもらってもよろしいですかね。いろいろなお話いただきたいと思いますが、まずどなたかございますでしょうか。

市民

農業施設のことにお願いしたいと思うんですが、目指す都市像「田園都市しおじり」という市の目標と、今、鳥獣害対策の中で遊休農地で後継者問題、外から農業法人を呼ぶっていうことにも関わってくるような気がしますので、お願いしたいと思います。農業施設の更新を進めているんですが、それについてのご質問とご要望になります。

私はブドウを作っているんですが、それにつましてその畑に撒く水ですね。それを西部中学校の横にある池、農林水産省が構築した桔梗ヶ原調整池から出水した農業用水を利用しています。ここの管理者は、中信平右岸土地改良区になります。この池ですけれど、昭和 60 年から 62 年ぐらいにかけて作られてきまして。そこから末端の畑、第 1 工区第 2 工区、第 3 工区、団体営というところに水が撒かれています。大体どこら辺かと言いますと、西部中の辺りから桔梗ヶ原・平出・床尾辺りに、水をその池から取って散水に使っています。こちらの方ですけど、もう 37 年ほど筒があって、耐用年数を 7 年ほど超えています。この老朽化により不具合が発生してしまっていて、立ち上がり水漏れとか、畑の中で塩ビのパイプが破裂していて漏水してしまうとか、そういうことが増えてきています。また、今年もそうだったんですけど、近年の異常気象により、農業用水が大事になってきまして、塩尻市の誇れる産業の一つであるブドウ栽培、ワイン、高原野菜などにも影響が少しずつ出てきているような感じがします。百瀬市長にご質問なのですが、昭和 60 年代に、県営事業で整備したこの畑かん施設、農家の負担の工事費は当時で 50 アール当たり 25 万円でした。1 ヘクタール 1 億ですね。250 万円ぐらい

を農家が負担していました。

施設の不具合を解消するために、更新事業を導入した場合、30 何年前のお金ですので、現在の人件費や、物価高騰で農家が負担する金額、負担金が、どのぐらいになるか試算もできないほど多くなることが考えられます。そのときに、市としてはどのような支援をしていただけるのか。

もう一つ、これは要望なのですが、「田園都市しおじり」とか鳥獣害対策の中で出てきたワードを考えていたときに、この更新事業は、壮大な計画ではないのかなと思います、宗賀区にとって。それを取りまとめるのに、それぞれ第 1 工区、第 2 工区、第 3 工区、団体営だけでは、もう手に負えないぐらいな計画になってくると思います。そのときに、地元を取りまとめる事務局とか、専門技術員が必要になってくると思います。経験豊富な市の職員なり誰かそういうのに長けた人の派遣を検討していただけないかという要望です。

例えば、今からこの計画が少しずつ動き出すんですけど、建設は5年後、出来上がるのは10 年後と言われています。私は 60 ですので、70 からやって大体この初めの予算ですと 25 万円 10 アールです。うちは 2 町歩作っていますので 500 万。70 にして 500 万の借金を、果たしてそれをやるのかどうか。この話を平出の方に聞きました、野菜やっている人に。そしたら、みんなその畑の灌水の施設が壊れた時点で、もう俺はやめるよって、もうやってやらないよ。それはもう遊休農地荒れ果てることにもなりかねないと思います。ですので、今後も含めて考えていただきたいことをお願いしたいと思います。

市長

農業って、非常に私大事な産業と思っております。やはり農業用水がないと、なかなか営農ができない、そういう状況であることも熟知しております。まず、要望の人的な関係土地改良区も含めですね、そこは惜しみなく連携をしながら、私ども市の職員も実のところ、精通した職員がいないので、そこは県とか国の技術専門員とかに頼りながら事業が進むようにしていきたいと思っております。

そして、次は制度的なお話でありますけれども、やはり莫大な事業がかかるお金であります。今ですね、事業をやると国が 50%、県が 27.5%、残りの 22.5%が市と受益者で負担をすると、受益者の負担が生じてきてしまいますし、受益者の合意がないと、なかなか進んでいか

ないそういうところもあります。元に戻りますけど、農業を維持していくということは、非常に大切なことでありますし、未来に対してしっかりと投資していく分野でありますので、いろいろな合意とかを得ながら進めていきたいとは思っております。農業施設の老朽化というのも非常に大きな問題になってきておりますので、ご理解とご協力をいただきながら進めてまいりたいと思います。その部長の方から補足ございましたら。

農林部長

予算が必要になる事業になろうかと思えますし、それから同意率も9割を超える同意が得られないと進められないという事業になってまいります。市内では洗馬妙義地区が更新事業入れてとても使い勝手が良くなったと評判が良いわけであります。また、その様子を見ていている皆さんも多いかと思えますけども、環境がガラリと変わる、そんなインパクトのある事業であるとみておりますので、今後、動向を見極めながら検討させていただければと思います。

市民

よろしくお願いします。本当に後継者がいなくて、その施設を使っても仕方がないんじゃないかという意見が結構多く出ています。ですので、後継者問題も含めて、進めていただければと思いますので、よろしくお願いします。

市長

はい、ありがとうございます。本当におっしゃる通り、農業の後継者って少なくて、そこで営農が止まってしまうというケースが多々ありますので、後継者の育成とかをしっかりと努めていきたいと思えます。

市民

先ほど市長さんがご説明の中で、頼りたいことの中に雪かきっておっしゃっていましたが、実は洗馬区は高齢者のニーズが43%ってことでかなり多いですから、今まで市道私道ではなくて塩尻市道ですけども。一部市民が手分けをして行っておりましたが、やはり高齢化が進みまして、とてもなかなかできなくなっている。毎年何かお聞きしているように伺っ

ておりますけども、市の方でやっていただいている市道の区域を拡大することは可能でしょうか。

市長

雪かきは大きな問題だと思っておりますが、実は今、市も建設業者でやめてしまう建設会社もありまして、雪かきをどうやって回していくかというのが大きな課題であります。そういう中で、なかなか市道のかくところを増やすというのは、現実的には厳しい状況であります。かく優先順位をきちんと決めて、効率よく除雪ができるように策を練っているところであります。ご理解をいただきたいと思います。そして、区で協力をいただいている除雪もありまして、そこに金銭的な部分の支援は増やす、予算編成の中でそういった議論が出ていますので、しっかりと取り組みを進めていきたいと思います。雪かきに関しては、本当に皆さんのお力がなくて今、雪が降った後、まちの中を綺麗にすることができない状況になっております。そんな状況もご理解いただきながら、できる限りのことはやっていきますので、よろしくお願いいたします。

市民

1点お聞きしたいです。今泉テクノヒルズ産業団地の方に里山を作っているんですけども、そちらの方で樹種転換という形でアカマツを全部切って、カラマツを植えますという事業が入ったんですね。重機の重いホワダーとか、材木を運搬するものが林道を行きすると40～50センチ下がっちゃうんですね。それで松の根っことかダナの根っこが、もう下に掘れちゃって出ちゃっているんですね。今年の3月頃ですね。その林道を使って山に行きたい方が軽自動車でも来ても、もう道が荒れちゃっていて、全然通れないんですね。何とかならないかと要請をしまして、何とか今なっているんですけども、この辺の荒れた道は、もう私どもも元には戻らないなと思っているんですけども、整備等々はどんな具合になるのでしょうか。

市長

里山の整備をいただいておりますが、ありがとうございます。林道の整備もなかなか追いついていない状況がございます。市でもありとあらゆる林道整備していきなさいけないですし、山の本の伐採をするにも作業道を上げていかないと切れないような状況があります。そう

いった中で今、山も樹齢が平均 70 年ぐらいになっていて非常に高齢化していて、伐採をして再造林していかないと、山そのものが弱っているという状況でございます。抽象的なお答えで申し訳ないですけれども、計画を立てて、順番立てて、道の整備もしておりますけれども、非常に林道って今の気象状況に照らし合わせると、非常に弱い状況でありまして。今泉の林道も、いわゆる工業団地の間にあるダイシンの横の林道とかしょっちゅう荒れては直し、荒れては直しの繰り返しをしております。できることをしますけれども、その辺の難しさもご理解をいただければと思います。貴重なご意見ありがとうございます。

市民

牧野で今年も敬老祝賀会を久しぶりにやったんですけども、それやる中で各部対象者のご家庭に招待状をお持ちしました。私が回ったのは牧野団地を全部回りました。対象の方が多いもんですから、回って見てみると、ほとんど人が入ってない棟があり、入っていても 1 棟 1 軒ってところが非常に目立ったというように思います。牧野団地ももう結構長いですけど、牧野団地の市営住宅を今後、市としてはどのようにしていくのかがあるようでしたら、お聞かせ願いたいです。

市長

今の市営住宅に関しましては、整備をどういうふうにやっていく、また、使うところは長寿命化の計画をしております。牧野団地に関しても、これから閉じていくところに関しては、新たに人を入れてない状況もありますので、広い中で 1 人しか入ってない状況もあろうかと思います。住宅の中でセーフティネット、住家を確保するという状況もありますので、そんなところでお話をしたいと思います。部長の方からもっと細かい話を差し上げます。

企画政策部長

建設部の方で市営住宅、市内全体ありますから、整備計画を立てているところです。この先 10 年ぐらいの間に、どこ残していくかとか、どこを廃止していくかっていうのははっきりさせていくと思いますので、それが今年度来年度あたりまでには、出来上がってくると思いますので、公表させていただいて進めていきたいと思っております。

市長

牧野団地もそうですし、市営住宅お住まいの方の高齢化というのは今非常に進んでいる。工業団地もそうですし、松原団地もそういう状況でありますので、そういった中で適正に今申し上げました計画を立ててやっていきます。ただ、住むところとしては私どもがね、住まいとして提供しなきゃいけない責任があります。そういったところの両面を確保しながら、進めていきたいと思います。

市民

今もう空き家になっているところは、基本的にはもう人は入らないと判断してよろしいですかね。

市長

どこの棟が該当していて、私ども施設の老朽化具合とかを見て結構判断をしているところがありますので、細かいところは見えるところがありますので、また後でお名前とか後でやり取りができるように連絡先とか教えていただければ、きちんとお話をしたいと思います。

市民

今日はいろいろご説明ありがとうございました。今日のテーマ、やっぱ獣の対策ですけど、里谷が整備してないと、どんどん来ちゃうというのは当然だと思うんですね。今年、私は里山の整備に参加させていただいたんですけど、やっぱ高齢化、先ほど洗馬の方からもあったように、雪かきもそうですけど、高齢化が著しい。参加者 30 名ぐらいいたと思うんですけど、その中の 8 割方 70～80 歳の方ということで、お金ではないんでしょうけど、ボランティアだけで頼るっていうのはもう限界に来ているかと思っています。あともう一点は提案ですけど、西条とか小野の方から仙人岩とか天狗岩まで遊歩道が来ているんですよ。結構人が動いているという話を聞いています。こっちの方から洗馬とか床尾の方から行く道も整備すれば、そこにも人が行き来、要は洗馬から小野駅まで行けるということで、人が来ればその対策にも一助になるだろうなと、ご提案です。これ洗馬の歴史同好会で、来月頭にこっちの方から仙人岩まで行

く企画しているので、そのルートで開拓できれば、林道の整備をしていただくことがいいかなとは思っています。

市長

山に人が入るということは、私も非常に大事なことだと思っております。私も小さい頃の経験からすると、月に何回かちっちゃい頃山にはいっていたんですけども、今本当に秋の一時しか入らなくなっております。そういう面で言いますと、遊歩道とか整備をされていきたいと思えますし、歴史の話ありましたけれども、歴史の資産がこの辺すごいある。昔、石灰が取れた、いわゆるトロツコの敗戦時期で活用みたいなお話も伺っております。そういう歴史を繋ぎ合わせて、山が整備されて守られて、さらにそこによそから人が来る、そういうかたちになっていけばいいと思います。

北小野の霧訪山は、日本の低山ランキングでトップに選ばれて、山頂が渋滞するほど人が来たりしておりますので、そういうきっかけをもとにしっかりと開発していきたいと思えます。

市民

市内全域の問題ですが、子供の居場所づくり事業というのが始まっているんです。市内で学習支援が関係するのは5団体で、私の団体もその一つです。毎週1回やって、年50回ということで、予算がスタッフの謝礼なしで20万円でやっています。それに対して市の方から補助ということで、6万円出ているわけです。ただそれが、非常に少額なもんですから。ありがたいですが、継続運営が困難になっているという状況がありまして、おそらく他の団体もそうであろうと思うんです。松本で言いますと寺子屋事業というのがあって、スタッフ謝礼も含めると、うちの団体の規模で年間42万補助が出るわけですね。また、安曇野市で言いますと、運営補助ということで上限50万円出るわけです。また、下諏訪町で言いますと、謝礼を抜きでやった場合でも年間13万円から出るわけですね。

というような状況で、塩尻がもう少し何か改善していただけないかなと思うんですが、これが国の方の国庫補助金交付というので出ていると思うんですが、それより持ち出しをして、他の市町村がやっておられるんじゃないかということで、改善がどんな具合でしょうかということで、お聞きしたいと思えます。

市長

はい、ありがとうございます。子供の居場所づくり、本当に提供いただいております。周辺自治体のお話ありましたけれども、塩尻の水準が周辺の自治体に比べて低いということは、私どもも承知をしております。また、同様の要望をいただいているところであります。今、予算編成入っておりますけれども、皆さんが子供の居場所をつくるという理念に基づいてうまく進んでいくようなところで、応えるところでしっかりと応えていかなければならないと思っております。おっしゃったように、私ども把握をしておりますので、この予算編成の中でしっかりと考えていきたいと思っております。ありがとうございます。

市民

予算のないところ大変恐縮ですが、平出の博物館の計画がどのような形で現在進んでいるか、分かる範囲で教えていただきたいと思います。

市長

平出博物館につきましては、基本設計をした後、今おっしゃった通り予算の状況もありまして、進んでいない。今年は地形測量等、いわゆる出来得る範囲のところをやっておりますが、先が見えていない大変申し訳ない状況だと思っております。今、また基本設計をベースに、これからの市民の皆さんとワークショップを開いて、どんな博物館にしていくかといったところを加速して今進めたいと思っておりますが、あの当初予定をした年度であれば、もう再来年はできていなければならない。そのような状況の中で、進まないことを重ねましてお詫びを申し上げつつ、他の地権者がいらっしゃることでありますので、そういった皆さんの心の理解もきちんと得ながら、そして何よりも、平出地区の皆さんや宗賀地区の皆さんの思いを形にする施設を長期的に目指していきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

市民

私は早朝ウォーキングしているんですけれども、篠ノ井線の跨線橋から、桔梗ヶ原病院までの歩道、それからサラダ街道の入口からきららランドの付近の歩道、そこに雑草がだいぶ生え

ていて。歩道を歩くと、私は泥棒草って言っていて、この辺はバカとか言うらしいんです。その雑草の実がズボンについていて、見た目にも非常に悪い。しっかり除草してもらいたいという希望でございます。

市長

はい、ありがとうございます。今この気候で、雑草の勢いがすごく処理が追いつかなくてご迷惑をおかけしているところであります。それぞれの道路管理者、国、県、市ありまして、しっかりと要望を上げていきながら、歩道を確かに荒れているのが今市内全域で出ておりまして。こういうお話をしても雑草を何とかしてくれと、市の方に来る「市長への手紙」でも、雑草の処理を結構な件数をいただいております。適切に処理できるよう努めていきますが、今、処理しきれない状況になっていることもご理解をいただきたいと思います。草取りをシルバー人材センターにお願いをしているんですけども、シルバー人材センターも人手不足に陥っている状況も輪をかけて処理が追いつかない。そんな状況にありますけども、快適な環境にするのが大事ですので、しっかりと守っていきたいと思っております。

市長

予定した時間をオーバーしてしまい大変申し訳ございませんでした。今日宗賀地区のタウンミーティングを開催いたしまして、様々な課題を頂戴いたしております。市としても、できる限り応えていきたいと思っておりますし、特に有害鳥獣、なかなかイタチごっこいって言うと変なんですけれども、ずっと解決策を打っていても、明確な理解を得られない。そういうところではありますが、有害鳥獣に関わらず全ての事業に関しまして、区民の皆様、市民の皆様の協力がなくては進めず、ご協力をいただきたいというのをお願いします。そして、今度逆に、市の方はそれに応えるしっかりと頑張っていかなければならないと思っておりますので、また皆様方の声を、私いろんなところに顔を出すように、この前も文化祭とかも顔を出すようにしていますので、こういう場によらず、まちで行き会ったら、呼び止めてもらって、ご要望いただいても結構でございます。そのような会話をしながら、市政をしっかり進めていきたいと思っております。本日は本当にありがとうございました。